

Release Bulletin for InfoMaker 2017 R3

InfoMaker® 2017 R3
FOR WINDOWS

DOCUMENT ID: ADC20231-01-2017-03

LAST REVISED: July 25, 2018

Copyright © 2018 by Appeon Limited. All rights reserved.

This publication pertains to Appeon software and to any subsequent release until otherwise indicated in new editions or technical notes. Information in this document is subject to change without notice. The software described herein is furnished under a license agreement, and it may be used or copied only in accordance with the terms of that agreement.

No part of this publication may be reproduced, transmitted, or translated in any form or by any means, electronic, mechanical, manual, optical, or otherwise, without the prior written permission of Appeon Limited.

Appeon and other Appeon products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of Appeon Limited.

SAP and other SAP products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of SAP and SAP affiliate company.

Java and all Java-based marks are trademarks or registered trademarks of Oracle and/or its affiliates in the U.S. and other countries.

Unicode and the Unicode Logo are registered trademarks of Unicode, Inc.

All other company and product names used herein may be trademarks or registered trademarks of their respective companies.

Use, duplication, or disclosure by the government is subject to the restrictions set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of DFARS 52.227-7013 for the DOD and as set forth in FAR 52.227-19(a)-(d) for civilian agencies.

Appeon Limited, 1/F, Shell Industrial Building, 12 Lee Chung Street, Chai Wan District, Hong Kong.

目次

1 Release Bulletin	1
2 既知の問題	2
2.1 ライセンスに関する既知の問題	2
2.2 オブジェクトを開く際の既知の問題	2
2.3 InfoMaker ランタイムパッケージに関する既知の問題	2
3 Bug Fixes	3
4 SAP InfoMaker 12.6 で修正されたバグの統合	4
5 PowerServer (PB Edition)と他の PowerServer Edition.....	5
6 製品の互換性	7
7 サードパーティコンポーネントとデプロイメント	8
7.1 Apache 関連のファイル	8
7.2 Microsoft 関連のファイル	8
7.3 Oracle 関連のファイル	9
7.4 フリーダウンロードコンポーネントのリスト (オープンソースコンポーネントを含む).....	9
8 マイグレーション情報.....	10
9 ヘルプと追加情報の入手	11
9.1 Technical Support.....	11
10 Important Disclaimers on Legal Aspects	12
11 Copyright / Legal Notice	13

1 Release Bulletin

このRelease Bulletinには、Appeon InfoMaker® 2017 R3の最新情報が記載されています。

Appeon InfoMaker バージョン 2017 R3は、次のオペレーティングシステムをサポートします(バージョン 2017 R2と同じ):

- Windows 7 32/64-bit with SP1
- Windows 8.1 32/64-bit
- Windows 10 32/64-bit
- Windows Server 2008 32/64-bit with SP2 (実行環境のみサポート)
- Windows Server 2012 R2 (実行環境のみサポート)
- Windows Server 2016 (実行環境のみサポート)

2 既知の問題

既知の問題と回避策について説明します。

備考

Appeon®サポート契約がある場合は、Appeon Supportウェブサイトでのナレッジベースと解決策を検索できます。Appeon Supportウェブサイト(<https://support.appeon.com>)にログインし、Knowledgebaseを選択して検索を開始してください。

2.1 ライセンスに関する既知の問題

問題1: (PBオンラインライセンスの更新) 更新リマインダーウィンドウで"N日後に通知する"を設定しているが、サブスクリプションを更新していないとInfoMakerにログインするたびにウィンドウがポップアップします。
解決策: アカウント管理で"終了時にサインアウト"オプションを無効にすれば、InfoMakerを起動するたびにログインする必要はありません。

問題2: (PBオフラインライセンスの更新) 2017または2017 R2でオフラインライセンスを更新した後、InfoMaker 2017 R3をインストールしてオフラインライセンスを再度更新すると、次のInfoMakerへのログイン時にオフラインライセンスの有効期限が切れます。これは内部的にオフラインライセンス更新ファイル名が変更されたことによって発生しています。この問題を解決するには、InfoMaker IDEで再度オフラインライセンスをアクティベーションした後、更新してください。

2.2 オブジェクトを開く際の既知の問題

特に大規模で複雑なアプリケーションの場合、InfoMaker 2017 R3 IDEではオブジェクト(メニュー、ユーザーオブジェクト等)がゆっくりと開きます。

アプリケーションをフルビルドすることで、オブジェクトが開く速さを大幅に向上させることができます。

2.3 InfoMakerランタイムパッケージに関する既知の問題

InfoMakerランタイムパッケージは、InfoMakerとともにインストールされません。PowerBuilderをインストールしている場合には、PowerBuilderランタイムパッケージを使用するか、Appeonサポートセンターに連絡してInfoMakerランタイムパッケージのインストールプログラムを入手してください。

3 Bug Fixes

InfoMaker 2017 R3では、以下のバグが修正されています。

- (BugZilla ID: 1157) PowerBuilder日本語版では、カラムのIMEが0(なし)に設定されている場合、これらのカラム間でフォーカスを切り替えてもIMEモードと変更モードが変化しません。
- (BugZilla ID: 1057) PowerBuilder日本語版では、データウィンドウのフィールド間でフォーカスが切り替わった場合に、データウィンドウのIMEプロパティが反映されず、言語バーが切り替わりません。
- (BugZilla ID: 332) RichTextEditコントロールに表示される段落指定ドロップダウンの太字フォントは途切れています。
- (BugZilla ID: 807, 1322) InputFieldChangeData関数でRichTextEditコントロールをキャリッジリターンで始まる文字列に変更すると表示に失敗します。
- (BugZilla ID: 834, 364, 629, 942) デフォルトプリンターがリモートデスクトッププリンターの場合、RichTextEditコントロールが非常に遅く開き、コントロールが正しく表示されません。
- (内部的なバグ) Windows 10の場合、特にGridまたはTabularデータウィンドウのリッチテキスト編集スタイルカラムは、実行が遅くなります(以前の約6倍の速度)。
- (内部的なバグ) Windows 7または10の場合、RichTextデータウィンドウのタイトルバーが空で表示されているとき、データウィンドウをリフレッシュするためにマウスをスクロールさせると画面が点滅します。
- (内部的なバグ) オンラインライセンスを使用してアクティベートされたPowerBuilderが、5日間以上Appeonライセンスサーバーに接続していない場合、次のPowerBuilder起動時にインターネットに接続されていないとローカルライセンスがロックされます。ローカルライセンスがロックされた後、PowerBuilderに同じアカウントを使用してログインすると「すでにログインしています」というメッセージが表示されます。

4 SAP InfoMaker 12.6で修正されたバグの統合

発表([参照](#))により、InfoMakerの製品ラインはAppeonとSAPで異なって提供されます。

Appeonの製品ラインは、SAPの製品ラインで修正されたバグも統合されます。

Appeon InfoMaker 2017 R3のGAバージョンの場合、SAP InfoMaker 12.6 EBF 4220が統合されています。

5 PowerServer (PB Edition)と他のPowerServer Edition

PowerServer (PB Edition)とは、PowerBuilder Universal Editionで提供されるPowerServerを示します。このPowerServerのDeveloperライセンスは、.NETベースのPowerServerバックエンドに対してWebおよびモバイルアプリのデプロイをサポートします。

他のPowerServer Editionとは、.NETおよびJ2EEアプリケーションサーバーの両方でWebおよびモバイルのデプロイをサポートするPowerServer (Developer/Workgroup/Enterprise Edition)を示しています。

これらのエディションに含まれるさまざまなコンポーネントの違いに注意してください。

Table 5.1: エディションに含まれるコンポーネントの違い

コンポーネント	PowerServer (PB Edition)			他の PowerServer Edition		
	Developer Edition	Standalone Production Edition	Clustered Production Edition	Developer Edition	Workgroup Edition	Enterprise Edition
PowerServer Web/Mobile	利用可能	利用可能 (モバイルのみ)	利用可能 (モバイルのみ)	利用可能	利用可能	利用可能
PowerServer Web Component	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能
PowerServer Help	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能	利用可能
PowerServer Toolkit	PowerServer Toolkit は、PowerBuilder Universal Editionでのみ利用できます。 .NETまたはJ2EEアプリケーションサーバーベースのPowerServer 2017 R3、2017 R2、2017、2016に対して、PowerBuilderアプリをWebアプリまたはモバイルアプリとしてデプロイできます。					

PowerServer (PB Edition)のPowerServer Web/Mobileサーバーコンポーネントと、他のAppeon PowerServerエディションのPowerServer Web/Mobileサーバーコンポーネントは、別のサーバーにインストールする必要があります。これらを同じサーバーにインストールすると、予期しない問題が発生する可能性があり、両方をアンインストールして別々のサーバーに分けてインストールする必要があります。

また、これらのエディションでサポートされているさまざまな機能の違いに注意してください。

Table 5.2: エディションによりサポートされる機能の違い

機能	PowerServer Toolkit	PowerServer (PB Edition)			他の PowerServer Edition		
	-	Developer Edition	Standalone Production Edition	Clustered Production Edition	Developer Edition	Workgroup Edition	Enterprise Edition
モバイルアプリ	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート
Web アプリ	サポート	サポート	非サポート	非サポート	サポート	サポート	サポート
.NET アプリケーションサーバー	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート
J2EE アプリケーションサーバー	サポート	非サポート	非サポート	非サポート	サポート	サポート	サポート
クラスタリングとロードバランシング	サポート	非サポート	非サポート	サポート	非サポート	非サポート	サポート
オフラインモバイル機能	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート	サポート
無料/有料	無料	無料	無料	有料	有料	有料	有料
ライセンスモデル	—	サブスクリプション	サブスクリプション	サブスクリプション	パーペチュアル	パーペチュアル	パーペチュアル
サポート OS	Windows	Windows	Windows	Windows	Win/ Linux/ Unix	Win/ Linux/ Unix	Win/ Linux/ Unix
ユーザーセッション	—	5 (in total)	無制限	無制限	5	可変	可変

6 製品の互換性

InfoMakerは、多くのソフトウェア製品との互換性をテストしています。

Table 6.1: InfoMakerでテストされたソフトウェア製品

ソフトウェアの種類または製品	互換性
PowerBuilder	InfoMaker 2017 R3は、PowerBuilder 2017 R3でテストしています。
SQL Anywhere	InfoMaker 2017 R3は、SQL Anywhere 12.0から17.0でテストしています。
Microsoft .NET Framework	InfoMaker 2017 R3のSaveAs Excel 12機能には、Microsoft .NET Framework 4.0以上が必要です。
Oracle JDK	InfoMaker 2017 R3は、Oracle JDK 1.6と互換性があります。

7 サードパーティコンポーネントとデプロイメント

InfoMakerアプリケーションは、InfoMakerとともにインストールされるサードパーティコンポーネントに依存しているものがあります。

これらのいくつかのコンポーネントは、アプリケーションとともに再配布することができますが、他のコンポーネントはベンダーから入手する必要があります。

7.1 Apache関連のファイル

InfoMakerに含まれているApacheファイルは、ユーザーへ再配布することができます。

InfoMaker 2017 R3に含まれているApacheコードの使用または配布については、InfoMakerのfree download terms documentに記載されているApache License条項に準拠している必要があります。

アプリケーションがPDFファイル保存にXSL-FOを使用している場合、Apache Formatting Objects Processor (FOP)のバージョン0.20.5が必要です。

Apache FOPのウェブサイト <https://xmlgraphics.apache.org/fop/> を参照してください。

XML Webデータウィンドウサポート、DataWindowおよびDataStoreのXMLサポート、PBDOM、WebサービスのSOAPクライアントには、Apache Xercesファイルの*xerces-c_2_8.dll*と*xerces-depdom_2_8.dll*が必要です。Xerces C++ Parserウェブサイト <http://xerces.apache.org/xerces-c/> を参照してください。

7.2 Microsoft関連のファイル

さまざまなInfoMaker機能のために、特別なMicrosoft関連のファイルが必要です。

7.2.1 Visual C++ランタイムおよびActive Template Library

InfoMakerのコアランタイムファイルをデプロイする場合、ユーザーのコンピューターまたはサーバーにMicrosoft Visual C++ランタイムの*msvcr100.dll*と*msvcp100.dll*、およびMicrosoft .NET Active Template Library (ATL)の*atl100.dll*が存在していることを確認してください。

InfoMakerランタイムファイルは、これらのファイルに依存しているため、InfoMakerランタイムを必要とするすべてのアプリケーションとコンポーネントで必要です。これらのDLLファイルは、¥Program Files¥Appeon¥Shared¥PowerBuilderフォルダーまたはDLLアーカイブウェブサイトの <http://dlldump.com> または <http://driverskit.com/> から取得できます。PowerBuilderアプリケーションの実行ファイルバージョン(32-bitまたは64-bit)と同じバージョン(32-bitまたは64-bit)のDLLファイルを入手してください。

7.2.2 インクピクチャライブラリ

アプリケーションでInkEditおよびInkPictureコントロールを使用する場合、*Microsoft.Ink*、*Microsoft.Ink.dll*、および*Microsoft.Resources.dll*が必要です。これらのファイルは、Microsoft .NET Framework 3.5以降の一部であり、.NET frameworkのインストール後には、C:\Windows\winsxsおよびサブフォルダーに格納されています。

7.2.3 DirectXランタイム

InfoMakerアプリケーションでは、DirectX 3Dレンダリングを使用して、より洗練された外観の3Dグラフ(3D円、3D横棒、3D縦棒、3D折れ線、および3D面)を表示できます。DirectXグラフィックスタイルを使用することでデータアイテムまたは系列の透明性などのデータ表示を改善できます。

DirectX 3Dレンダリングは、DirectXランタイムに依存します。3Dグラフプロパティの一般タブで、3Dレンダリングのチェックボックスを初めて選択すると、InfoMakerがDirectXインストーラーを起動します。

インストールを中止した場合、3Dレンダリングプロパティは無視されます。DirectXグラフィックスタイルを表示させるためにInfoMakerアプリケーションのエンドユーザーは、自身のコンピューターにDirectXランタイムをインストールしておく必要があります。DirectXランタイムは、Microsoftのウェブサイト

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=2da43d38-db71-4c1b-bc6a-9b6652cd92a3&DisplayLang=en> からダウンロードできます。

古いグラフィックドライバーを搭載しているコンピューターでは、*dxdiag.exe*を実行してDirectXをサポートしているか確認できます。このファイルは通常、Windows\System32ディレクトリにインストールされます。*dxdiag.exe*の実行時に表示されるDirectX診断ツールのディスプレイタブで、Direct3Dが有効であるかを確認できます。

7.3 Oracle関連のファイル

EJBクライアント、JDBC接続、XSL-FOを使用したPDF保存には、Java Runtime Environment (JRE)が必要です。JREに関するサードパーティコピー条件については、free download terms documentを参照してください。JREは、Oracle Technology Network <http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html> からダウンロードできます。

7.4 フリーダウンロードコンポーネントのリスト (オープンソースコンポーネントを含む)

フリーダウンロードコンポーネント(オープンソースを含む)の完全なリストは、Appeonウェブサイトの[Free Download Terms document](#)を参照してください。

8 マイグレーション情報

InfoMakerアプリケーションは、任意バージョンのInfoMakerからInfoMaker2017 R3に直接マイグレーションできます。

マイグレーションする前に、テクニカルドキュメント "Migrating PowerBuilder Applications"
https://www.appeon.com/support/documents/appeon_online_help/pb2017r3/migrating_pb_apps を参照して、アプリケーションに影響するInfoMakerの変更点を確認してください。
InfoMakerに関する項目には、タイトルの後ろに(IM)が付いています。

9 ヘルプと追加情報の入手

この製品リリースの詳細については、製品ドキュメントサイトおよびオンラインヘルプを参照してください。

- 製品ドキュメント <https://www.appeon.com/developers/library/product-manualsfor-pb>
ダウンロード可能なPDFドキュメントです。ウェブサイトには、ホワイトペーパー、コミュニティフォーラム、メンテナンスリリース、サポートコンテンツなど、他のリソースへのリンクもあります。
- オンラインWebヘルプ
https://www.appeon.com/support/documents/appeon_online_help/appeon_online_help.htm
- 製品にパッケージされているコンパイル済みHTMLヘルプ (.chm)

PDFドキュメントを閲覧または印刷するには、Adobe Acrobat Readerが必要で、[Adobe](#)ウェブサイトから無償でダウンロードできます。

備考

製品リリース後に追加された重要な製品またはドキュメントの情報など、最新のリリース情報については、オンラインヘルプウェブサイトから入手できます。

9.1 Technical Support

すべてのお客様は、再現可能なソフトウェアの欠陥に対して標準的な技術サポートを受ける権利があります。スタンダードサポートチケットは、Appeonサポートサイト:

<https://www.appeon.com/standardsupport/> (ログインが必要)で開くことができます。

この製品のプレミアムサポート契約を購入した場合は、指定されたサポート担当者は、Appeonのサポートサイト: <https://support.appeon.com> (ログインが必要)で技術的な問題や質問に対する支援を求めることができます。

10 Important Disclaimers on Legal Aspects

Coding Samples

Any software coding and/or code lines / strings ("Code") included in this documentation are only examples and are not intended to be used in a productive system environment. The Code is only intended to better explain and visualize the syntax and phrasing rules of certain coding. Appeon does not warrant the correctness and completeness of the Code given herein, and Appeon shall not be liable for errors or damages caused by the usage of the Code, unless damages were caused by Appeon intentionally or by Appeon's gross negligence.

Accessibility

The information contained in the Appeon documentation represents Appeon's current view of accessibility criteria as of the date of publication; it is in no way intended to be a binding guideline on how to ensure accessibility of software products. Appeon in particular disclaims any liability in relation to this document. This disclaimer, however, does not apply in cases of wilful misconduct or gross negligence of Appeon. Furthermore, this document does not result in any direct or indirect contractual obligations of Appeon.

Gender-Neutral Language

As far as possible, Appeon documentation is gender neutral. Depending on the context, the reader is addressed directly with "you", or a gender-neutral noun (such as "sales person" or "working days") is used. If when referring to members of both sexes, however, the thirdperson singular cannot be avoided or a gender-neutral noun does not exist, Appeon reserves the right to use the masculine form of the noun and pronoun. This is to ensure that the documentation remains comprehensible.

Internet Hyperlinks

The Appeon documentation may contain hyperlinks to the Internet. These hyperlinks are intended to serve as a hint about where to find related information. Appeon does not warrant the availability and correctness of this related information or the ability of this information to serve a particular purpose. Appeon shall not be liable for any damages caused by the use of related information unless damages have been caused by Appeon's gross negligence or willful misconduct.

11 Copyright / Legal Notice

© 2018 Appeon Limited. All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or for any purpose without the express permission of Appeon Limited.

The information contained herein may be changed without prior notice. Some software products marketed by Appeon and its distributors contain proprietary software components of other software vendors. National product specifications may vary.

These materials are provided by Appeon for informational purposes only, without representation or warranty of any kind, and Appeon Limited shall not be liable for errors or omissions with respect to the materials. The only warranties for Appeon products and services are those that are set forth in the express warranty statements accompanying such products and services, if any. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty.

Appeon products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of Appeon. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.